



白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話0261-82-3100）



## 浦川スーパー暗渠砂防堰堤



## 新春を迎えて



あけましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より砂防事業の推進にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

姫川砂防事務所管内の白馬村、小谷村を流れる姫川の流域は、急峻な地形に加え、脆弱な地質であることから、古くから自然災害、特に土砂災害が多く発生しています。

当所は、これらの災害から生命・財産を守るために開所され、地域の皆様とともに土砂災害対策に取り組んでまいりました。

さて、昨年4月にスタートした長野県の新たな総合5か年計画では、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現を目指し、災害に強いインフラ整備や消防防災体制の充実などを重点政策としております。

当所では、この計画に基づき、砂防施設等の整備を計画的に進めるとともに、さらに昨年、全国で相次いだ土砂災害などを教訓に、国道や鉄道などの重要交通網の保全対策や再度災害の防止対策を優先的に、災害に強いインフラ整備を進めてまいります。

また、地域に暮らす人自らが災害発生時に適切に対応できるように、地区防災マップの作成を支援し、さらに小学校を対象とした防災教育や現場見学会の開催など、地域防災力の向上に取り組んでまいります。

本年も、地域の皆様にとって「頼りになる砂防事務所」を目指して、職員一丸となって安全・安心の地域づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして良い年で、穏やかな年となりますようご祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

長野県姫川砂防事務所長 木村智行

## 砂防カードの取組みが知事表彰をいただきました

長野県治水砂防協会姫川支部は、砂防カードを全国に先駆けて発行し、ご好評をいただいておりますが、その取組みが、元気づくり支援金の優良事例として知事表彰をいただきました。

これは、砂防カードを発行するだけでなく、砂防ボランティアや地元の皆さんによる砂防施設の環境整備活動や、小学校と連携した防災教育など、様々な主体の協働による活動が評価されたものです。



表彰状の授与



表彰された団体の皆様

12月9日（日）、大町合同庁舎で行われた表彰式には、松本支部長（小谷村長）、下川副支部長（白馬村長）が出席。

松本支部長が知事表彰を、他の3団体が地域振興局長表彰を受けた後、各団体から事例発表を行いました。慣れないパワーポイントでの説明は難しく、どの発表にも苦労の跡がしのばれました。



優良事例発表会



今年の砂防カード第3弾では、道の駅や他の市町村とも協働し、砂防カードラリーを実施しています。

これを励みに、皆さんとの協働を、さらに進めていきたいと考えております。

### 【知事表彰事業】

「砂防施設を活用した新たな観光事業の推進」

（小谷村 長野県治水砂防協会姫川支部）

### 【地域振興局長表彰事業】

「信濃大町の食の魅力整備発信事業」

（大町市 信濃大町の食  
おいしいプロジェクト準備委員会）

「マーケットインに立ったりんご生産とブランド化  
～生産者が消費者に直接届けます～」

（松川村 あっぷるぼういず）

「木流笠地蔵コミュニティー広場整備事業」

（白馬村 アルプスの会）

## 歴代所長・支部長会議を開催しました

10月23日、長野県治水砂防協会姫川支部は、歴代の姫川砂防事務所長、姫川支部長（村長）にお集まりいただき、意見交換を行いました。



当日、参加された歴代所長・支部長は8名。現在の砂防事業についてご意見をいただいたほか、平成7年、8年の大災害や、砂防事業の予算が削減された厳しい時代を乗り越えた経験談などをお聞かせいただきました。

また、地域の皆様が、これからも安心して住み続けていくため、さらに砂防事業を進めるよう、激励をいただきました。

ご意見は職員間で共有し、日々の業務に役立てていきたいと思っております。

## 姫川建設業協会代人会との意見交換を行いました

砂防の工事における留意点の確認と監督員との意思疎通を図ることを目的として、10月12日に姫川建設業協会代人会（現場代理人の会）が主催する技術講習会・意見交換会が白馬村の農業体験実習室で開催されました。

当日は代人会から26名、役場から4名、当事務所からは7名が参加し、中島係長からは10月1日から改正の契約約款に伴う「社会保険への加入促進」、黒岩技師からは今までに建設した施設による「姫川管内の効果事例」、野坂技師からは最近の事務所の取り組みとして「ドローンの活用」について説明を行いました。



技術講習会後はフリートークとなり、日頃感じていることや改善点などについて膝を交えた意見交換会となりました。

今後も現場からのご意見には真摯に向き合い、質の高い砂防施設の建設に努めていきたいと感じました。

## 12月に2つの砂防堰堤が完成しました

### (砂)宮沢 北安曇郡小谷村 大草連砂防堰堤 堰堤の長さ 72m 堰堤の高さ 14.5m

小谷村宮沢の大草連砂防堰堤は、土石流の被害から住宅及び県道、村道などの社会資本を守るために事業が開始されました。平成24年4月から村道や林道の拡幅工事に着手し、平成30年12月に全ての工事が完了しました。



着工前 (平成27年11月)



完成 (平成30年12月)

### (砂)どうろく沢 北安曇郡白馬村南谷地 どうろく沢砂防堰堤 堰堤の長さ 51m 堰堤の高さ 9.5m

白馬村のどうろく沢は、白馬村サンサンパーク東の流域面積0.07km<sup>2</sup>溪床勾配1/6の谷地川の支流で、平成7年7月の梅雨前線豪雨では土砂流出が発生しています。

災害時緊急輸送の(主)白馬美麻線をはじめ、住宅や村道等を保全対象として、平成28年9月から着手し、平成30年12月に工事が全て完了しました。



着工前 (平成28年9月)



完成 (平成30年12月)